

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 7年 9月 12日13時30分 ~14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
宮本 毅	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
伊勢田 義紀	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (zoom)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子 (欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
片山 徹	当該サービスに知見を有する者	TOWN訪問診療所横浜 院長
菅井 直樹 (zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立 (zoom)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
石濱 千秋	事業所職員	管理者
佐藤 恵理	事業所職員	看護師
青柳 かおる	事業所職員	介護職員
羽後 みゆき	事業所職員	介護職員
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
加藤 萌子	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2～4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

1. 令和7年度7月、8月実績報告、
2. 令和7年度7月、8月〔身体拘束・虐待防止検討委員会〕報告
3. 令和7年度7月、8月〔感染症委員会〕報告
4. インシデント・アクシデント・苦情報告
5. 令和7年度7月、8月活動報告
* 9/6に開催された演奏会の報告
6. 事例紹介「認知症の終末期ケアにおける意思決定支援」
7. 意見交換

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記1～5について、ご質問、ご意見等ありませんでした。

6. 事例紹介について

- * 妻、長男、長女それぞれの本人に対する思いの相違について⇒それぞれの思いの相違があった。
- * このような事例は、レアケースというわけではないですか？⇒そうではなく、看多機の機能として終末期を支援することが多々ある。
- * 特殊な資格を持った職員が対応するのか？⇒特にありません。
- * 終末期になると、家族も覚悟はしていたものの、他に出来ることはないか？となる。残される家族が出来ること、本人よりも家族の思いのほうが大きいのではないかと感じる。
- * 家族関係は難しいですね。支援者と関わりながら、悩みながら、対応していかなければならない、正解もないです。
- * 家族間の関係性、それぞれの家族の住まいの距離、第三者が入って話し合うのもよい、正解がないですが、大変だと思うが引き続きよろしく願いいたします。
- * 終末期は、最期の意思決定で悩みますね。別件ですが娘さんが献身的に介護している家族があった。介護者に余裕があるときはいいが、母親の運命を自分が決定することに負担を感じ、感情が爆発してしまったことがある。決定は医師やケアマネができる訳ではない。介護者への寄り添いは難しいと感じたケースです。傾聴し、医師の立場として、ある程度の道しるべを示せればと思う。千差万別、ケースバイケースなので難しい。

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 7 年 8月

登録者数(8月 31日現在)		女性 12名	男性 5名	計 17名				
要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請・区変中
	0 名	0 名	1名	4名	1名	2名	9名	0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	13	0	24	0 (訪問看護)
イ	7	0	14	1
ウ	18	4	0	2
エ	14	0	23	1
オ	13	0	0	29
カ	9	1	31	8
キ	8	5	10	33
ク	22	17	0	25
ケ	25	22	6	2
コ	9	0	24	5
サ	23	24	4	56 登録:8/7~
シ	10	2	15	7
ス	10	2	16	10
セ	8	1	13	18 入院:7/23~8/8
ソ	9	2	29	0
タ	8	0	36	4
チ	11	4	26	0
ツ				
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				平均要介護度 3.82
ヘ				
平均	12.76	4.94	15.94	

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	1. 看護・介護の連携強化及び同法人内事業所と一体的に協力し、利用者を確保し経営の安定を図る 2. 安心で安全な質の高いケアの提供を行うために、職員教育を充実させる 3. 地域住民との連携/街づくりへの参画
目標に向けた具体的取組	1-1) 登録者276件／年(23名／月)を目指す 1-2) 様々な加算要件の維持(ターミナルケア、訪問体制等) 1-3) 介護・看護との定期的なカンファレンス、同法人内事業所との一体的会議の継続 2-1) 事業所内研修の実施、外部研修への参加 2-2) 職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化 3-1) 地域住民や他事業所と共同で研修会の企画・実施 3-2) 日常的にかかわりのある地域住民等の相談に対応する体制を確保(総合マネジメント体制強化加算要件)

5. 活動報告

【7, 8月活動報告】 * 運営推進会議(7/11) * 管理者会議(7/14) * 在宅事業部全体研修(7/12「体験を通して認知症ケアについてもう一度考えてみましょう」) * オンライン外部研修(7/15「災害時における高齢者施設の感染症対策」) * (看)小規模多機能型居宅介護連絡会(7/19) * 運営会議・身体拘束適正化委員会・虐待防止検討委員会・感染対策委員会・喀痰吸引会議(7/24, 8/21) * 都筑区認知症連絡会(7/29) * 事業所合同カンファレンス(毎週水曜日) * 介護職カンファレンス(毎週水曜日) * 看護職カンファレンス(毎週金曜日)	
---	--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	帰宅時、自宅の外階段で、膝折れを起こし、右ひざに擦過傷
改善策	【原因】 ご本人の筋力低下、持久力低下、貧血傾向などがあり、階段昇降は通常二人介助で行っていたが、当該時、一人が門扉を開錠していたため、一人介助となったことが要因と考えられる。 【今後の対策】 帰宅時はベッドへ戻るまで必ず二人介助とし、安全確認を徹底する。

内容	
改善策	

7. 地域への情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし
